

先端技術を先端で支える

Enabling Leading-Edge Technologies



代表取締役兼執行役員社長 (CEO)

吉田 芳明

2019年度通期の業績予想につきましては、受注高を2019年7月時点の2,300億円から2,350億円へ、売上高を2,300億円から2,470億円へ、営業利益を300億円から450億円へ、当期利益を260億円から365億円へ、それぞれ上方修正しました。

かかる展望を踏まえ、当社は、コーポレート・ビジョンとして掲げた「進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求」の体現と、2018年度を起点とする中期経営計画で掲げた経営指標の達成に向けた成長基盤の整備、期間損益の改善、資本の効率的活用を引き続き追求してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第78期の中間報告書をお届けいたします。

当年度上期の当社をめぐる事業環境を振り返りますと、2019年の半導体市場はマイナス成長となっており、メモリ半導体を中心に、多くの半導体メーカーで生産調整や投資計画の見直しが進められました。

一方、5G関連半導体など先端プロセス品の生産が拡大したことでSoCテスト・システムの需要が増加し、他用途における需要減速を補いました。

これらの結果、当年度上半期の受注高は1,242億円、売上高は1,378億円、営業利益は329億円、当期利益は268億円となりました。

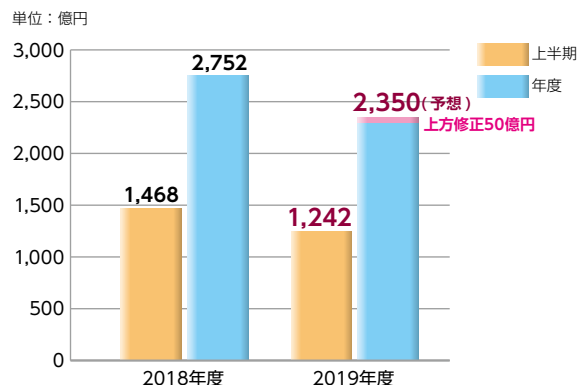
今後の事業環境を展望しますと、上期の業績を牽引した5G関連需要については、短期的には反動が生じる可能性があるものの、中長期にわたり持続的な需要が期待できます。低調が続いていたメモリ・テスト需要については、DRAMの高速化・信頼性高度化を背景に、下期に持ち直す兆しが見られます。

2019年度通期の業績予想につきましては、受注

決算ハイライト (2019年4月1日～2019年9月30日)

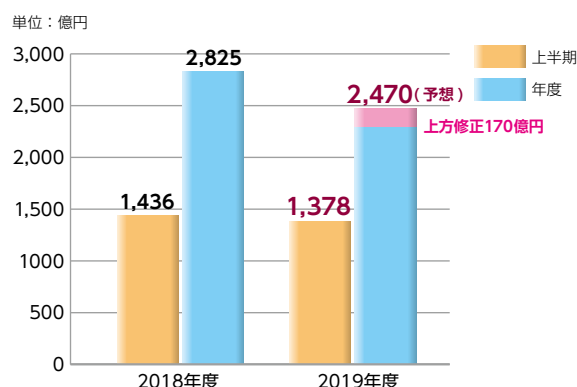
受注高 1,242億円 前年同期比 15.4%減

昨年度非常に活況だったメモリ向けの需要が半減した一方、5G関連需要に支えられ、SoCテスト・システムの需要は前年同期並みの水準を収めることができ、当初の想定を超える進捗となりました。これを踏まえ、受注の通期予想を50億円上方修正いたしました。



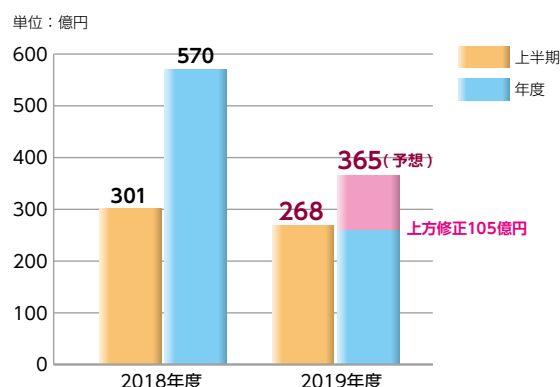
売上高 1,378億円 前年同期比 4.1%減

先端プロセスを使うハイエンドSoCの他、イメージセンサー、パワーマネジメントICなどスマートフォンに使用される半導体向けのテスト・システムの売上が、韓国、台湾、中国において堅調に推移しました。これを踏まえ、売上の通期予想を170億円上方修正いたしました。



当期利益 268億円 前年同期比 11.2%減

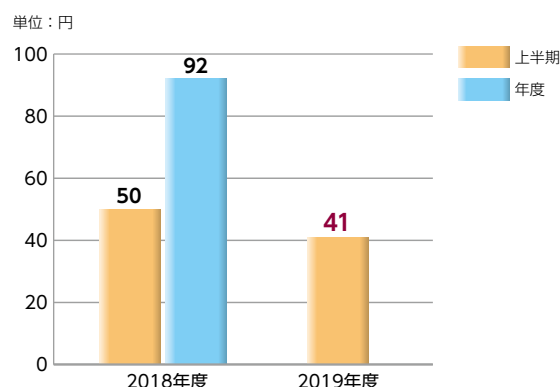
今後の成長施策として人員を増強していることで、販売管理費が増加しましたが、ハイエンドSoC向けの売上構成比が高まったことで売上総利益率は想定より向上しました。これらと売上予想の増加を踏まえ、当期利益の通期予想を105億円上方修正いたしました。



1株当たり配当 41円

株主の皆様への中間配当金につきましては、1株につき41円とし、2019年12月2日を支払開始日といたします。

当社は、持続的な発展と中長期的な企業価値の向上が株主利益への貢献の基本であるとの認識のもと、資本コストと財務健全性の双方を意識した経営を行ってまいります。



※ 財務諸表、計算書の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.advantest.com/ja/investors/ir-library/financial-result-presentation>



私たちの市場とビジネス機会

社会のさまざまな機器に搭載され、あらゆるシーンで使われている半導体。その半導体がきちんと動作するか、また求められている性能、耐久性を満たしているかを、“高精度の電気信号”を流して試験する。それが“半導体テスタ”の役割です。



社会の進化を担う半導体

半導体は、スマートフォン、コンピューター、家電製品、ゲーム機、自動車、産業用機器などさまざまな機器に搭載され、また通信、スマートシティ、SNSなど社会のあらゆるシーンで使われています。2018年の半導体世界市場は25年前の約6倍に成長し、過去最大の規模となりました。今後も5G、ADASをはじめとする技術の進化に伴い、半導体市場は大きく成長していくと想定しています。

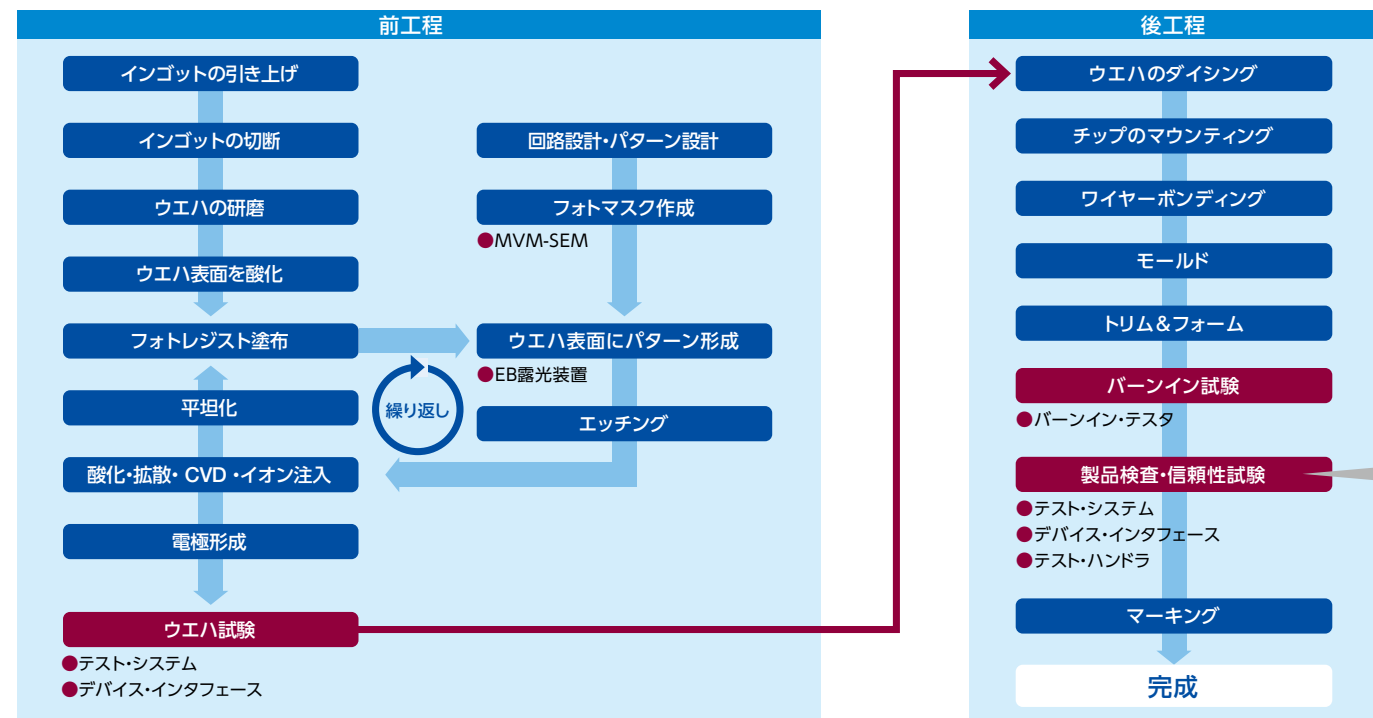
半導体市場の成長は、ムーアの法則に代表される、回路幅の微細化、それによるチップの小型化、動作の高速化・省電力化に支えられてきました。そして、それが電子機器の機能や性能の発展にも大きく貢献してきました。今後もEUV露光(波長の短い極端紫外線を用いて回路を描画する技術)、回路の3次元積層化などの革新的な技術の普及により、ますます半導体の性能は向上し、それが使われるシーンもさらに広がっていくことでしょう。

半導体試験の必要性

ナノメートル単位の微細な構造を持つ半導体は、チリや埃を避けるためクリーンルームの中で作られます。作られた半導体は必ずしも良品ではなく、回路の断線やショート、ロジックやメモリの機能エラーといった不良品の可能性を排除できません。特に最先端プロセスを用いて作られる新しい半導体は、プロセスが安定せず製品品質が大きくばらつくことがあります。不良品の発生や流出を防ぐため、半導体の設計段階

や、前工程と後工程の最後に試験を行います。試験工程は単に良品不良品を判定するだけでなく、不良内容を分析し設計や他の製造工程の改善にも活用されます。半導体は電気で動作しますが、製造工程で半導体に通電するのは試験工程以外にありません。半導体試験は、「半導体と会話を行う」唯一の工程として、製品の品質保証を担っています。

■半導体プロセスにおける試験工程と当社製品



半導体試験装置(後工程試験の場合)



※ より詳細な情報は統合報告書をご覧ください。

<https://www.advantest.com/ja/about-advantest/integrated-annual-report>



VLSIresearch社の顧客満足度調査にて「10 BEST」を31年連続受賞

半導体に関する市場調査会社VLSIresearch社(米国カリフォルニア州サンノゼ)が発表した、2019年半導体製造装置メーカー顧客満足度調査結果において、顧客満足度の高い大手半導体製造装置メーカー上位10社である「10 BEST」に31年連続で選出されました。

当社は、自己最高となる総合評点を獲得し、特に「技術的リーダーシップ」「パートナーシップ」の項目で高スコアを記録しました。その結果、「試験装置」部門で「THE BEST Suppliers」を、「半導体製造装置・ラージサプライヤー」部門で31年連続となる「10 BEST Suppliers」をそれぞれ受賞しました。また、「ラージサプライヤー」部門で3社のみとなる、5つ星のレーティングに選ばれました。



欧州地域統括会社がドイツにおける「働きがいのある会社」にランクイン

欧州地域統括会社であるAdvantest Europe GmbHが、国際的な人事コンサルティング機関「Great Place to Work®」による、2019年版ドイツにおける「働きがいのある会社」に、ランクインを果たしました。

Advantest Europe GmbHは、「従業員数501人から2000人の会社」のカテゴリーで、11位となりました。また、情報通信部門の「Best Employers 2019」で参加167社中3位、バイエルン地方の「Best Employer」で155社中4位となりました。



SSDテスト・システムの新製品「MPT3000ARC」を発売

SSDテスト・システムMPT3000シリーズの新製品「MPT3000ARC」を発売しました。

スマートカーやウェアラブル機器など、インターネットに接続するさまざまなアプリケーションへ用途が急拡大しているSSDに対応して、広範囲な温度試験を可能にします。また、自動車や産業機器分野での標準的な温度試験規格にも適合しています。



アドバンテスト健康宣言を制定しました

<アドバンテスト健康宣言>

アドバンテストの経営理念実現のために、社員一人ひとりが心身とも健康に働くことができる職場作りに取り組み、企業市民としてサステイナブルな社会の発展に貢献することを宣言します。

代表取締役兼執行役員社長(CEO)

吉田 芳明

健康経営とは、従業員の健康保持・増進が将来的に収益性を高める投資であるとの考えのもと、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する取り組みです。

当社では、今後はこの健康宣言に基づき、持続的な社会の発展に貢献してまいります。

<主な取り組み>

- ・健康管理体制の拡充
- ・疾病予防対策
- ・メンタルヘルス対策
- ・禁煙対策(受動喫煙防止)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
定時株主総会	毎年6月	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル)
基準日	定時株主総会 期末配当金 中間配当金		
	毎年3月31日 毎年3月31日 毎年9月30日		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1丁目1番 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.advantest.com/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)		

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

会社の概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社アドバンテスト ADVANTEST CORPORATION	(ご注意) ◆会計基準について 本中間報告書に記載されている見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。
本店	東京都千代田区丸の内1丁目6番2号	◆将来の見通しに関する記述について 本中間報告書にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング TEL. 03-3214-7500	
設立	1954年12月2日	
従業員	4,750名(連結) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。	
上場	東京証券取引所第1部(コード: 6857)	

ADVANTEST®

<https://www.advantest.com/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング
TEL. 03-3214-7500



環境に配慮し、植物油インクを使用しています。